

編集後記

『国際経営論集』第35号をお届けします。本号には、論文7編、研究ノート1編、それに研究資料1編を掲載しております。通常の講義にくわえて、期末試験や入試業務が重なる時節のなか、寄稿くださった先生がたには感謝申し上げます。また投稿を予定されながら完成稿にはいたらなかった先生がたには、次年度のご寄稿を期待しております。

『論集』の体裁を一部変更したことは、前号の編集後記で述べました。今号はその路線にそった編集となっていますが、論文体裁の統一性という観点からはいまだ道半ばと判断しております。その原因の一半は、投稿者の属するディシプリンの違いにもあると思われま

とくに目立つ違いは、引用・参考文献の指示方法や表記方法です。理系と文系の違いはよく言われることですが、文系でもそれぞれ属する研究領域や学会によってさまざまな指示・表記方法があることは、本号に掲載されている各論文を比較するだけでも明らかです。専攻論文の書き方は、それぞれの専門領域での訓練とレフリー付き学会誌への投稿などによって培われたものと考えられます。どの書き方が正しく、どれが間違っているとは一概にはいえません。また、現在のところディシプリン横断的に指示・表記方法が統一される方向にあるとも聞きおよびません。本誌でも当面は各ディシプリンの準則に従うことにしたいと考えております。

しかし他方、論文の体裁上、ディシプリンとは直接関係しない、編集サイドの裁量で統一できる箇所もあることはたしかです。たとえば、注の（指示方法ではなく）表記箇所を文末注にするか脚注にするか、図表タイトルの位置をどこに定めるか（表は上段に、図は下段にタイトルを置くなど）、目次表記の必要性の有無、などは論文の内容や構成にかかわらない、編集上の問題として統一できる事項のように思われま

す。さらに、論文要旨やキーワードを論文の冒頭に掲げることについても、なんらかの合意が形

成されればと考えます。前号でも述べましたように、紙媒体の論文を電子媒体に転換して流通させる必要性は高まっており、本誌掲載論文の場合でも国立情報学研究所（NII）によって電子媒体化されて無料一般公開されています（Ci Niiを参照）。Web上に公開された論文を閲覧する場合、その要旨なりキーワードが論文の冒頭にあれば、検索者の便宜はますと思われま

す。要旨を掲げる場合の文書量や表示方法について、本誌なりのガイドラインが望まれます。本号における論文体裁上の不統一は、編集委員の課題処理スピードの遅さや怠慢にあることは認めざるをえません。投稿規定やガイドラインの作成については、次号からの喫緊の課題にしたいと思いま

す。

編集委員会（新垣公弥子・後藤伸）

〈執筆者紹介（掲載順）〉

- | | |
|------|------------------|
| 松浦春樹 | 経営学部教授 |
| 小島大徳 | 経営学部准教授 |
| 牧野雄貴 | 本学経営学研究科博士前期課程在学 |
| 千葉義信 | 経営学部非常勤講師 |
| 幸嶋謙二 | 経営学部非常勤講師 |
| 小澤幸夫 | 経営学部教授 |
| 斎藤純一 | 経営学部教授 |
| 荒井義則 | 経営学部非常勤講師 |

『国際経営論集』 第35号

無断禁転載

2008年3月31日 印刷

2008年3月31日 発行

発行 神奈川大学経営学部
編集 『国際経営論集』編集委員会
〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946
電話 (0463) 59-4111
FAX (0463) 58-9688

制作 株式会社 興版印刷
〒254-0076 神奈川県平塚市新町7-15
電話 (0463) 32-1899
FAX (0463) 32-1865